

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 火曜2限	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	前中尾絵梨香	実務経験と その関連資格	理学療法士として、病院・介護施設・訪問看護ステーションなどで15年以上			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> ・ICF、ICIDHについて理解する。 ・機能障害・能力障害の概要について理解し、患者の全体像がとらえられるようになる。 ・リハビリテーションにとって必須となる福祉用具や介助方法について理解する。 						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
リハビリテーションビジュアルブック						
《授業外における学習方法》						
配付資料の空欄部分を中心に復習すること						
《履修に当たっての留意点》						
該当ページを読んでおくこと						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ICFとICIDH、関節可動域障害・筋力低下について理解し説明できる	PC ゴニオメーター	教科書の該当箇所を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	ICIDHとICFについて。関節可動域障害や筋力低下が起こることによって日常生活にどのような支障をきたすか考える。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動麻痺と筋緊張について理解し説明できる	PC 打腱器	教科書の該当箇所を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	筋緊張とは何か？運動麻痺の種類について講義する。検査方法のひとつ、腱反射を体験する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚障害・平行機能障害・協調性障害について理解し説明できる	PC	教科書の該当箇所を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	感覚障害・平行機能障害・協調性障害の概要や検査方法について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL障害とは何か理解し説明できる	PC	グループ学習で課題とした疾患についてまとめる	
		各コマにおける授業予定	ADL障害の概要と検査方法について。ワークも交えながら実施する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉用具や介助方法について理解し説明できる	車椅子 杖 歩行器 ベッド など	教科書の該当箇所を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションにおいて必須となる福祉用具の紹介と介助方法について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	福祉用具や介助方法について理解し説明できる	車椅子 杖 歩行器 ベッド など	教科書の該当箇所を讀んでおくこと
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションにおいて必須となる福祉用具の紹介と介助方法について		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	グループ発表の準備ができる	教科書	GWが進められるよう事前に話合っておくこと
		各コマにおける授業予定	課題として各疾患の発表グループを決定し、最終日のグループ発表準備をする		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	グループ発表できる リハビリ対象疾患と障害の関係を理解し説明できる	PC	
		各コマにおける授業予定	学生の課題発表の場とする		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			